

発行:源氏前図書館
〒142-0053
品川区中延4-14-17
電話 03-3781-6273
FAX 03-5702-4190

ブックとりっぷ

2023年 すずらん号

荏原第五中・富士見台中のみなさんへ

私の中学時代の一番の思い出は、6人しかいない弱小バスケット部で、奇跡的に公式戦で初めて1勝できたこと、かなあ。あと、好きな女の子の親友から告白されて、結局自分は好きな子に告白できなかったこと。親戚のお兄ちゃんにももらった古いガットギターをかき鳴らしながら毎日叫んでいたような気がします。

みなさんの中学時代の思い出作りを図書館がお手伝い出来たら嬉しいな、と思います。源氏前図書館は毎月第二木曜日の館内整理日以外は基本開館しているので、一度のぞいてみてください。

源氏前図書館長より



おいでよ!
としよかん!



品川区立図書館では、区内在住・在勤(在学)に関係なく、どなたでも利用カードを作る事ができます。利用カードは、品川区立の全ての図書館で使えます。

最寄りの品川区立図書館へ住所、氏名、生年月日が記載されている有効期限内の証明書(保険証、医療証、生徒手帳など)をご持参の上、ご来館ください。

利用カードは2年毎に有効期限を更新します。長期間ご利用がない(貸出がない)場合、利用カードは失効します。



図書資料・視聴覚資料を合計で20点まで借りられます。
※DVDなど一部資料には貸出点数制限あり

一部資料を除き
貸出期間は
2週間です。



館長の推し本



お探し物は図書室まで

青山美智子/著 ポプラ社 913.6/ア

青山美智子さんの小説は優しい。なにか嫌なことがあったり、疲れてしまったときに、心をほっこりしてくれる力があると思います。この作品は、2021年の本屋大賞2位になったもので、私の読み終わった後の最初の感想は「こんな司書さんがいたら、すぐにスカウトしたい」でした。最近文庫化もされています。おすすめです。



SDGsブックリスト
2023年版を配布しています!

ティーンズ特集 5/12~7/12
ドラマ・映画・アニメの
原作本

開館時間

月~土曜日 午前9時~午後8時
日曜日・祝日 午前9時~午後7時



休館日

毎月第2木曜日



**10代の時のつらい経験、
私たちはこう乗り越えました**
しろやぎ秋吾／著 KADOKAWA Y371/シ

「突然周りから無視されるようになった」「自分がゲイだと言いつけなかった」今の10代は何に傷つき、何を乗り越え、何を伝えたいのか。10代の時のつらかった時期を乗り越えた体験談の数々を漫画で紹介する。



**色のひみつがすべてわかる!
すごすぎる色の図鑑**
ingectar-e／著 桜井輝子／監修
KADOKAWA Y757/1

色についての知識を身につけ、色鮮やかな毎日を楽しもう! 色が見える仕組みから、おもしろい錯視、色から受けるイメージ、配色のポイントまで、わかりやすく紹介する。



絵で旅する 国境
クドル／文 ヘラン／絵 なかやまよしゆき／訳
文研出版 31

人々の暮らしに大きな影響を与える国境。あるべき国境のすがたとはなにか。大胆な構図と細やかな筆致で描かれた美しいイラストが、世界の国境をめぐる旅へといざなうユニークな絵本。



ビタミンBOOKS
さみしさに効く読書案内
重松清／著 新潮社 YB019/シ

矢沢永吉「成り上がり」、宮部みゆき「理由」、みうらじゅん「愛にこんがらがって」、酒井順子「金閣寺の燃やし方」、太宰治「晩年」など必読の34冊を、文庫解説の名手が紹介するブックガイド。



**どうすれば争いを止められるのか
17歳からの紛争解決学**
上杉勇司／著 WAVE出版 Y319/ウ

なぜリーダーは戦争をやめられないのか。テロをなくすための暴力は「正しい」のか。仲裁を成功させるためのヒントとは。戦争、暴力、正義、国際平和の真実を、紛争解決学の視点からわかりやすく解説する。



つる子さんからの奨学金
まはら三桃／作 偕成社 Y913/ア

曾祖母つる子が、ひ孫のわかばと樹に奨学金をだすという。条件は、今の実力よりひとつ上の学校をめざすことだった。部活との両立、心配する親からのプレッシャーに悩みながらも、わかばは挑戦するおもしろさを感じていき…。



**そのこだわりにはワケがある! ビーカーくんがゆく!
工場・博物館・実験施設**
うえたに夫婦／著 誠文堂新光社 Y407/ウ

ビーカーやリトマス紙、ろうと、温度計、上皿天秤など、おなじみの実験器具の工場や、科学にまつわる博物館や実験施設をビーカーくんが訪ねて、たのしくレポートする。『子供の科学』連載を書籍化。



命のスケッチブック
中谷加代子／語り 小手鞠るい／構成・文 静山社
Y916/ナ

だからわたしは生きて、生きて、生き抜いて、いつか胸を張ってあなたに会いたい。殺人事件で娘を亡くした母の「命」のメッセージ。小学校や矯正施設で行った講演をもとに書籍化。